

城南家保ニュース Vol. 21-7

熊本県城南家畜保健衛生所 平成21年 10月 発行

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617



共進会（第50回都市乳牛及び第61回球磨畜産）開催！

平成21年度第50回都市乳牛共進会が9月26日に、また9月29日には第61回球磨畜産（郡）共進会が錦町の畜産農協で開催されました。各地域で選抜された体型、血統の優れた牛が一同に揃い、会場は大勢の生産者などで賑わいました。ほかにも飼料作物の部で、乾草とサイレーシ31点が出展され、種牛の部と同様に、名誉賞と優秀賞が選ばれています。

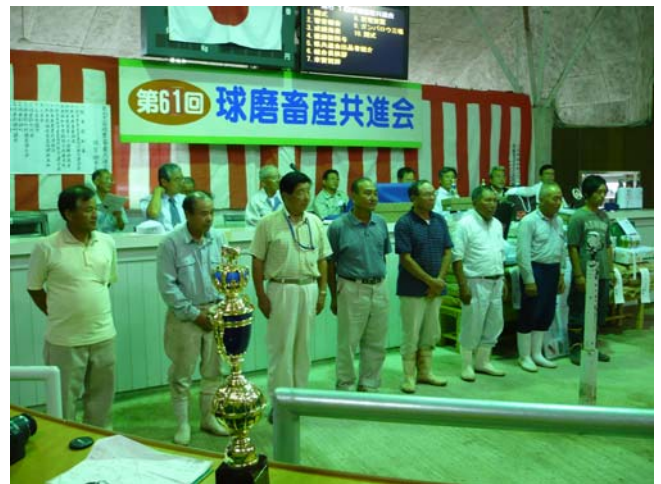
主な成績は以下のとおりです。

乳牛

- ・11部門 95頭の出品
- ・県共進会への選出は12戸20頭
- ・グランドチャンピオン：錦町 有田和重
(ケルビーユードレーク号)

肉用牛(黒毛和種)

- ・3部門 68頭の出品
- ・県共進会への選出は
育成牛1部から2頭、2部から2頭
経産牛の部から1頭の計5頭
- ・グランドチャンピオン：水上村 村山清張
(やすしげ号)



ETチャレンジ50達成機関発表！

平成18年度および19年度の受精卵移植実施状況調査によるETチャレンジ50達成機関が発表されました。球磨地域からは平成18年に上田雄一獣医師が、また19年には赤池豊人工授精師がランクインするなど熊本県の畜産技術の高さが伺えました。

詳しくは農林水産省のホームページに掲載してあります。

http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/_l_katiku/index.html

知っ得コーナー

ETチャレンジ50とは？

・ETとは、受精卵移植のことで、牛から採取した受精卵を他の牛の子宮に戻す技術です。こうして出来た子牛は日本で年間約15,000頭に上ります。採取した卵は未受精の場合体外受精卵として、また既に受精した卵を他の牛に戻す場合一旦保存する凍結技術があります。卵は体外に出た時点から時間や手間がかかるほど受胎率は下がり、生まれてくる仔牛は少なくなります。ETチャレンジ50達成機関とは、昭和61年に開始されたプロジェクトで受胎率の向上と、地域機関の発展を目的として始まったもので、体内受精卵移植の年間受胎頭数50頭以上、受胎率50%以上、妊否不明頭数が移植頭数の10%以下の機関です。